



経団連自然保護協議会・経団連自然保護基金

創設 25 周年記念式典にフォーラムも参加、交流促進活動を行う

経団連自然保護協議会・経団連自然保護基金は、創設 25 周年記念式典を、去る 2017 年 5 月 23 日（火）経団連会館・2F ホールで実施しました。同時に、「2017 年度 企業と NGO 等との交流会」が行われ、東京湾再生官民連携フォーラムでは、展示等を実施し、参加団体との交流促進をおこないました。

創設 25 周年の記念式典では、2016 年 11 月 28 日、「25 周年記念特別基金助成事業」の実施が公表されており、その審査結果が発表されました。

受賞プロジェクトは、「アジア太平洋地域生物多様性保全にかかる次世代人材育成事業-SATO YAMA UMI プロジェクト」。記念講演は、さかなクン 東京海洋大学客員准教授による五感で感じる魚についての講演、次いで、鈴木 日本サンゴ学会会長による「美しいサンゴ礁を取り戻そう」をテーマに行われました。

引き続き会場を経団連会館の 4F に移し、「2017 年度 企業と NGO 等との交流会」が開催されました。

会場では 18 団体の展示が行われ、関係者・参加者がスムーズに交流できるように、簡単な立食形式での工夫が施されていました。フォーラムでは、CSR-NPO 未来交流会 2017 の開催 PR、フォーラム活動の紹介するとともに、各 PT 活動の説明を実施しました。

参加団体は主に NGO の活動グループが多く、アジア、東南アジアをエリアとした活動を幅広く実施している説明が、随所で見られ盛況のうちに閉幕しました。



<会場での説明>



<案内展示>